

ひろば



臨時号

❖一人ひとりの「もちあじ」を大切に、つながり合おう！学び合おう！（子どももおとなも）❖

学校教育自己診断アンケート

保護者の皆様、お忙しい中、アンケートにご回答いただきまして、ありがとうございました。今回は、延べ 238 人(家庭数で換算すると 69.7%)の回答がありました(1回めは、延べ 141 人・31.8%)。結果については別紙のとおりですが、ここでは、低学年(1～3年)と高学年(4～6年)の回答において、1回めのアンケート結果と比較し、**低学年は、4ポイント以上増加した項目と減少した項目**について、**高学年は、3ポイント以上増加した項目と減少した項目**についてお知らせします。(ただし、1年生のアンケートは2学期のみの実施となりますので、低学年については「参考」となります。)また、保護者の回答においては、**4ポイント以上増加した項目と減少した項目**についてお知らせします。

【低学年（1～3年）】

◀ 4ポイント以上増加した項目 ▶

- ◎クラスや学年のみんなで協力して学習したり、何かに取り組むことが楽しい。(90.0⇒94.3%)
- ◎友だちや仲間の「よいところ」や「もちあじ」をわかっている。(89.3⇒93.9%)
- ◎授業中、自分にあった方法や学び方を選んで学習するときがある。(84.1⇒93.8%)
- ◎ペアやグループで話し合う学習（活動）が楽しい。(87.1⇒93.0%)
- ◎授業中、問題を解決するために、いろいろな方法を考えて取り組んでいる。(83.9⇒87.9%)
- ◎道徳で学習したことを、ふだんの生活に活かしている。(85.3⇒90.2%)
- ◎家で、学校の学習内容を「予習」している。(74.7⇒81.2%)
- ◎家で、学校の学習内容を「復習」している。(69.6⇒77.1%)
- ◎家で、本を読んでいる。(58.0⇒70.4%)
- ◎家族のためになることをしている。(85.3⇒89.8%)
- ◎世の中のためになる活動を、自分から進んで行っている。(76.1⇒82.1%)
- ◎自分は、まわりの人（学校・家庭・地域）から大切にされていると思う。(88.6⇒93.0%)
- ◎自分には、よいところがあると思う。(87.1⇒93.4%)
- ◎スマートフォン等でとった写真を、SNS等に勝手にあげてはいけない。(92.5⇒96.6%)

◀ 4ポイント以上減少した項目 ▶

- ◎読書（本をよむこと）は楽しい。(91.7⇒86.6%)
- ◎「早寝・早起き」「体力づくり」等、体の健康について学び、取り組んでいる。(87.4⇒83.4%)
- ◎学校での学習内容や出来事等を、家族に話している。(85.5⇒80.2%)

(考察)

低学年の児童は、友だちや仲間との学習やかかわりについて、前向きに捉えて過ごしている児童が増えている。また、仲間との協働的な学習活動に対しても「楽しい」と感じている児童が増えていることから、「子ども同士がつながり、支え助け合う仲間(集団)づくり」の成果が表れていると考える。さらに、家族や地域の方々との関係性から自分が大切にされていると実感するとともに、「家族や世の中のため」という意識の高まりから、児童の「自己肯定感・自己有用感」が向上していると考えられる。

【高学年（4～6年）】

《3ポイント以上増加した項目》

- ◎学校で「できた」「わかった」「がんばった」と思えることが1つ以上ある。(91.1⇒94.3%)
- ◎学校でこまっている人がいたら、自分から進んで助けたり、手伝ったりしている。(84.7⇒87.8%)
- ◎学校でこまったときに、自分で友だちや先生に助けを求めている。(86.2⇒90.5%)
- ◎自分がいやなことをされたとき、大人（先生や家族等）に伝えて（相談して）いる。(70.3⇒76.2%)
- ◎授業中、自分から進んで学習している。（自分の考えを深めたり、広げたりすることができる。）
(72.8⇒76.4%)
- ◎「早寝・早起き」「体力づくり」等、体の健康について学び、取り組んでいる。(70.2⇒76.8%)

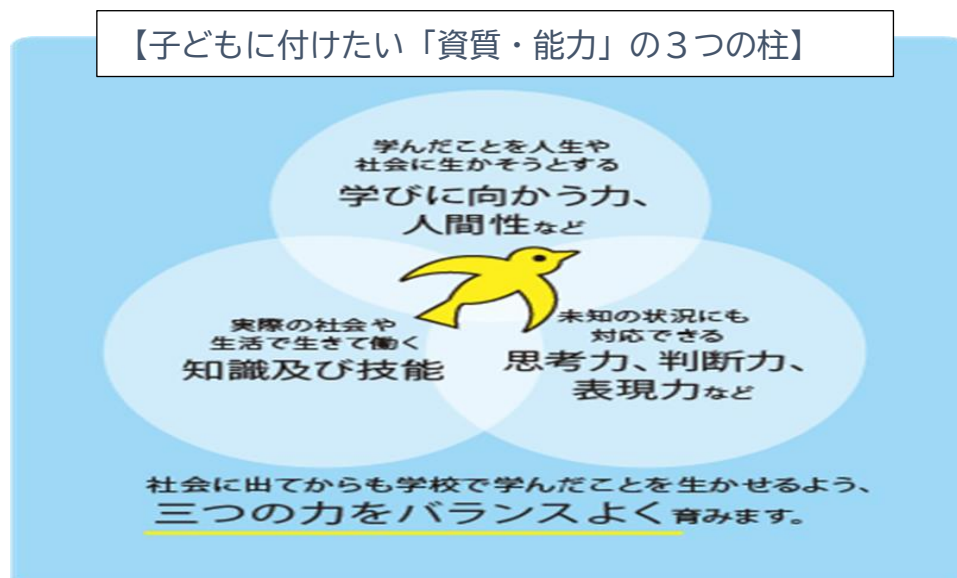
《3ポイント以上減少した項目》

- ◎先生は、自分の話や考えを聞いてくれる。(90.3⇒87.3%)
- ◎家庭学習や宿題は、学校の授業とつながっていると思う。(92.3⇒88.6%)
- ◎読書（本をよむこと）は楽しい。(80.0⇒73.0%)
- ◎道徳で学習したことを、ふだんの生活に活かしている。(80.2⇒76.1%)
- ◎家で、学校の学習内容を「予習」している。(53.6⇒49.7%)
- ◎家で、本を読んでいる。(56.5⇒49.8%)
- ◎世の中のためになる活動を、自分から進んで行っている。(75.8⇒68.3%)
- ◎家の人や地域の人といっしょに、学習したり、行事に取り組んだりしたい。(75.3⇒71.1%)

（考察）

高学年の児童は、学習活動で困ったことがあった場合、友だちや仲間を頼って解決できると思う児童が増えている。また、学校生活における友だちや仲間とのかかわりについても、友だちや先生に相談するなど、人を頼って解決できると思う児童が増えていることから、低学年と同様、「子ども同士がつながり、支え助け合う仲間(集団)づくり」の成果が表れている。さらに、自ら進んで学習に取り組み、「できた」「わかった」「がんばった」と実感している児童が増えていることから、「自分で考えたり、仲間に頼るなど、児童が主体的に学びに向かう授業づくり」の成果が表れていると考える。

ただし、「家庭において計画的に学習に取り組むこと」や「家族や地域の方々とのかかわり」について課題が見られる。子どもたちが、将来、社会の一員として働くための必要な技術(スキル)と、自分の仲間(同僚)とともに社会に必要なこと・ものをつくりあげるための能力が身につくような学習や活動にも力を入れていく必要がある。



学校における学習活動は、国語や算数等の点数だけではなく、「何を、どう学ぶか」を子ども自身が考え、自立(自律)して学ぶ姿勢を、一人ひとりの能力や状況に応じて支援・指導しています。

【保護者】

◀ 4ポイント以上増加した項目 ▶

- ◎学校は、何がいけなかったのか分かるように、子どもを指導している。(83.8⇒92.3%)
- ◎お父さんは、学習内容をふりかえることを通して、自分で学習課題を見つけている。(58.1⇒65.6%)
- ◎お父さんは、家でタブレットを使って、自主的に学習に取り組んでいる。(40.7⇒52.0%)
- ◎お父さんは、家で時間を決め、計画を立てて学習に取り組んでいる。(41.7⇒48.6%)
- ◎お父さんは、家で学校の授業内容の「復習」をしている。(33.0⇒38.2%)
- ◎家庭で、お父さんががんばったことを、ほめている。(93.6⇒97.7%)
- ◎お父さんと地域の行事や地域のためになる活動に参加している。(20.9⇒24.9%)
- ◎通知表(あゆみ)や懇談会は、わかりやすく工夫され、お父さんの励みになっている。(72.9⇒79.8%)
- ◎学校は、家庭連絡等、きめ細かい対応をしている。(84.9⇒89.6%)

◀ 4ポイント以上減少した項目 ▶

- ◎お父さんは、家庭や学校、地域で挨拶をしている。(90.1⇒82.2%)
- ◎学校は、落ち着いた雰囲気の中で授業を行っている。(90.1⇒80.8%)
- ◎お父さんは、早寝早起きや入浴するなどの基本的な生活習慣が身につけている。(89.1⇒81.1%)
- ◎お父さんは、家で読書をしている。(45.4⇒41.0%)
- ◎ゲームやスマホ等の使い方や使用時間について、お父さんは家の人との約束を守っている。
(78.4⇒72.0%)
- ◎お父さんは、地域の行事に参加している。(50.4⇒44.9%)

本校では、学習指導や生徒指導等とともに、子どもたちの10年後や20年後の将来も見据えて「大切にしたいこと」を意識し、組織的に取り組んでいます。このことを評価いただいたことは、教職員の励みになっております。反対に、昨年度よりポイントが落ちた項目やご意見については、真摯に受け止め、今後の取組を推進する際の「ヒント」にしてまいります。

また、来年度も、次の3点を重点項目とし、すべての児童を組織的に見守り、支援・指導します。

- 「学級」ではなく「学年」を最小単位とし、子ども同士の「つながり」を軸にした支え合い、学び合う集団(仲間)づくり
- 学年の学級担任以外の教員が授業をする「専科による授業」や学年の学級担任による「交換授業」等、学級担任以外の教員も含めた教員複数体制をさらに充実
- 支援学級担任や通級指導教室担当教員と連携し、個別に支援や配慮等を要する児童も含め、すべての児童が安全・安心の中で学び、活動できる環境づくり
 - ⇒どの子も安心して取り組める学習活動(一斉指導よりも、個別最適に学べる支援・指導)
 - ⇒「わからない」「教えて」と互いに依存し合える学年集団(依存すれば自立する支援・指導)

なお、来年度における学級数について、現時点での情報をお伝えします。「学級数」及び「教職員数」は、学校独自で決めるのではなく「公立義務教育諸学校の学級編成及び教職員定数の標準に関する法律」等により決められて配置されます。国の基準では、令和7年度は、1年生から5年生までは「2学級」、6年生は「3学級」となります。ただし、枚方市独自の基準では、4年生と5年生も「3学級」になる可能性があります。**ただし、あくまでも「可能性」があるだけで、「決定」ではありません。**

これまでの取組をさらに充実させるためには、保護者や地域の皆様のご理解とご協力が重要です。わが子同様、津田小学校にいるすべての児童の10年後、20年後を見据え、より良い成長に向けて、これまで以上に学校と家庭・地域が連携し、取り組んでいけるよう宜しくお願いします。

【学校教育目標】元気で明るい子 きまわりを守り、仲よく助け合う子 自分で考え、進んで実行する子